

平成 19 年 7 月 17 日

各 位

西日本シティ銀行

「第 63 回九州の経営動向調査」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、四半期毎に当行のお取引先様のご協力を得て、経営動向調査を実施しております。このたび、第 63 回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 調査対象企業について

- ・ 当行の主要取引先 790 社（回答企業数 342 社、回答率 43.3%）
- ・ 回答企業：福岡県内企業 78.4%、中小企業 79.8%

2. 景況感概要

- ・ 景況感については、全産業では前回調査に比べ悪化し、「悪化」超に転じた。うち、製造業については引続き改善、非製造業は引続き悪化。
- ・ 原材料価格の高騰や競争激化による収益低下懸念はあるものの、製造業を中心に緩やかな景気回復の傾向が続いている。
- ・ 先行きは、景気回復の傾向から改善の見通し。

景況感 B S I

	18 年 4 月 ～ 6 月期	18 年 7 月 ～ 9 月期	18 年 10 月 ～ 12 月期	19 年 1 月 ～ 3 月期	19 年 4 月 ～ 6 月期	19 年 7 月 ～ 9 月期 (見通し)
製 造 業 (改善ポイント)	+2.1 (11.9)	+1.9 (0.2)	+8.6 (+6.7)	+8.7 (+0.1)	+11.2 (+2.5)	+1.2 (10.0)
非 製 造 業 (改善ポイント)	4.0 (2.6)	3.8 (+0.2)	+8.6 (+12.4)	2.3 (10.9)	6.2 (3.9)	+6.6 (+12.8)
全 産 業 (改善ポイント)	2.4 (5.1)	2.1 (+0.3)	+8.6 (+10.7)	+0.6 (8.0)	1.8 (2.4)	+5.2 (+7.0)

3. 個人消費の動向

現在の個人消費は「良い」と回答した企業が 20% に対し、「悪い」と回答した企業は 22% となっており、「悪い」超となった。前回調査と比べると「良い」が +3 ポイント増加、「悪い」が 4 ポイント減少した結果、前回より改善となった。

また、先行きの個人消費についても、前回調査と比べると「好転」が同ポイント、「悪化」が 3 ポイント減少した結果、前回より改善となった。

4. 設備投資について

平成 19 年度の設備投資見通しは、全産業計で前年度実績比 +6.3% の増加となった。

以上

詳しくはこちらでご確認いただけます。

[第 63 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問合せ先
審査統括部 野田 (TEL 092-476-2781)